

きりん かんさつ 飼育と観察

クラスのおともだちが保育園に
もってきてくれた

2026.8がつ

かぶとむしとくわがたむし

「クラスで飼いたい」
との声があり、

飼育コーナーの
仲間いっしょ



さっそくずかんで調べて、
「これとおなじやなあ」

春の経験が力に
なってます。



今年はいじめて園にやってきた日。

みんなあつまって興味深々。大台町立図書館で本もかりて観察が日課に！ 毎日のぞいて



みるけど、
カブトムシの
姿がなかなか
みえません。
「ねとんかな？」
「夜にはらな
出てこんよ」
「そうなんや！」

ケースが汚れてきたら...
おうちのおそうじ！

飼育ケースの中の土は、少しづつ新しくしていくよ。きれいになって、
よろこんでくれるかなあ？



ごはんを食べるため

春のたんごむしやあおむしの
飼育の経験から、自分たちで
図かんを調べたり、お世話を
したり、身近ないきものを大切
にする姿がみられます。

たまごめつた命の誕生



はじめは「全部自分でやりたい」
と自己主張する子どもたちでしたが、
友だちと一緒にしたり、仕事を分担
したりして協力して取り組むようになりましたよ。



おたまじやくしも、たんごむしも
また元気です。